

W.A.M.調査報告書

◎名前

正式には、ヨハネス・クリュストムス・ヴォルフガングス・テオーフィルス(アマデウス)・モーツァルト

◎生まれた日、死んだ日

1756年1月27日午後8時、ザルツブルクで第7子として生まれる。

1791年12月5日午前0時55分、ウィーンで死去。(35歳10ヶ月)

◎家族

父(レオポルト1719-1787)は、「おもちゃの交響曲」で有名な作曲家で、教育パパ。

母(アンナ・マリア1720-1778)は、彼が22歳の時に死去。

姉(ナンネル1751-1827)とは、とても仲が良かった。

妻(コンスタンツェ1763-1842)は、彼の死後、デンマークの外交官ニッセンと45歳に再婚。

子供は、次男カール(1784-1858)が役人に、四男フランツ(1791-1844)が音楽家(モーツァルト2世)になったが、2人共生涯独身。

◎作品数

600曲以上。モーツァルトの死後、植物学者のケッヘルが作品目録を作った。因に、最後の作品「レクイエム」は、K.626。

◎死因

サリエリの「毒殺」説が有名であるが、公式な診断は「急性粟粒疹熱」。他に、フリーメーソンによる「謀殺」や、「尿毒症」「腎不全」「結核」「神経性熱病」「水銀中毒」「梅毒」「多量の瀉血」等々。今もって謎に包まれている。

◎容姿

イラスト参照。

◎恋愛

恋多き男だったが、作曲家ウェーバーの従姉妹で歌手のアロイジア(1760-1830)に振られて、26歳で妹のコンスタンツェと結婚した。

◎語学力

ドイツ語はあたりまえとして、イタリア語、フランス語、英語、オランダ語、ラテン語の6ヶ国語。旅の成果ともいえる。

◎手紙

旅の多い事もあって手紙好きで、400通以上が現存しているが、字は下手。

◎家計

貧乏というより、借金に追われた生活。(死後、750万円以上の借金が残った。)

◎遊び好き?

ビリヤード、ダンスが大好き。他に、カード、九柱戯(ポーリングの様なもの)、そして、スカトロジー(糞尿趣味)な冗談を言ったり、手紙に書く事。



◎作曲・演奏・レッスン料

「フィガロの結婚」——115万円

「コシ・ファン・トゥッテ」——229万円

「ハイドン弦楽四重奏曲」(6曲出版)——115万円

「レクイエム」——57万円(前金)

「ピアノ協奏曲第21番」——初演料160万円
ワン・レッスン(ピアノ)——約6,000円

◎ペット

犬(フォックス・テリアのめす犬で、名前はピンベルル)の他に、猫、カナリア、バツ、椋鳥、そして晩年には馬を飼っていた。

◎ギネスブック

(作曲スピード・ナンバーワン)

「ドン・ジョヴァンニ」序曲を一晩で完成。
「皇帝ティートの慈悲」を18日間で作曲。
交響曲第39・40・41番を42日間で作曲。

◎E.T.C.

●5歳で作曲、6歳でウィーンに演奏旅行する神童。

●35年という短い生涯で、17回も旅をした。(3720日間)

●生涯に知り合った人は、約700人。

●10年間に11回等、年中転居する引越し魔。

●秘密結社フリーメーソンの会員。

●小男の例に洩れず、グラマーな女が好きだった。

etc, etc, etc